平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月7日

上場会社名　株式会社 コンセック　　上場取引所　大
コード番号　9895　URL　http://www.consec.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役会長　(氏名) 佐々木　秀隆
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 寺本　泰之　TEL 082-277-5451

四半期報告書提出予定日　平成24年8月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,905	13.3	△66	―	△52	―	△126	―
24年3月期第1四半期	1,682	0.8	△163	―	△157	―	△163	―

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　△68百万円　(―%)　24年3月期第1四半期　△172百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△6.93	―
24年3月期第1四半期	△8.95	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	10,479	6,547	61.4	352.46
24年3月期	10,607	6,616	61.4	356.84

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　6,433百万円　24年3月期　6,513百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		0.00	―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,100	8.6	△82	―	△66	―	△89	―	△4.88
通期	8,870	8.0	62	―	95	―	40	―	2.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	18,640,112 株	24年3月期	18,640,112 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	387,022 株	24年3月期	387,022 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	18,253,090 株	24年3月期1Q	18,254,407 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は〔添付資料〕2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、歴史的な円高傾向の長期化やヨーロッパの一部における債務危機を原因とした金融不安などによる景気の下押し要因はあるものの、東日本大震災の復興関連を中心とした内需の底堅さに支えられ、緩やかに回復する基調で推移しました。

土木建設業界におきましては、東日本大震災の影響で防災関連の公共投資が堅調に推移し、民間設備投資も企業収益に連動して持ち直しの兆候が見えて来ています。

このような環境の中、当社グループは様々な顧客のニーズに積極的に対応することに努めており、特注の機器や機材の販売及び広範囲で大規模な特殊工事案件へ注力し、それらが実際の受注につながりつつあります。

その結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は19億5百万円（前年同期比 13.3%増）となりました。利益面におきましては外注工事を中心とした原価低減と販売費及び一般管理費の削減に努めてまいりましたが、営業損失は66百万円（前年同期は営業損失１億63百万円）となりました。また経常損失は52百万円（前年同期は経常損失１億57百万円）となり、四半期純損失は、特別損失として投資有価証券評価損50百万円を計上したことにより、１億26百万円（前年同期は四半期純損失１億63百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（切削機具事業）

前年に続き震災からの緩やかな復興に伴う需要と防災関連投資、切削機器及び消耗品などの売上が微増し、売上高は５億95百万円（前年同期比 2.0%増）、営業利益は10百万円（前年同期は営業損失14百万円）と順調に推移しました。

（特殊工事事業）

大型物件の受注獲得に努力し、結果として売上は大きく増加してきましたが、熾烈な受注・価格競争が続く厳しい状況で推移し、売上高は2億62百万円（前年同期比42.0%増）となりましたが、営業損失は21百万円（前年同期は営業損失19百万円）となりました。

（建設・生活関連品事業）

依然として個人消費は低迷しており生活関連品は不調ながら、企業収益が持ち直す中、民間設備投資が緩やかな増加基調にあり、売上高は６億99百万円（前年同期比 15.0%増）、営業利益は13百万円（前年同期は営業損失16百万円）と順調に推移しました。

（工場設備関連事業）

主要な顧客を中心に受注案件が集中し、売上高は１億40百万円（前年同期比25.2%増）、営業利益は15百万円（前年同期は営業損失9百万円）と順調に推移しました。

（介護事業）

時期的な要因で介護付き有料老人ホーム及び高齢者専用賃貸住宅での加齢による退去が続き、売上高は１億12万円（前年同期比2.5%減）、営業損失は13百万円（前年同期は営業損失11百万円）となりました。

（ＩＴ関連事業）

新規の大型ソフト受託開発案件の受注獲得により、売上高は96百万円（前年同期比22.3%増）、営業利益は15百万円（前年同期は営業損失11百万円）と順調に推移しました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から１億28百万円減少し104億79百万円となりました。流動資産は、売上債権の回収に伴う受取手形及び売掛金の減少２億１百万円、現金及び預金の増加30百万円などにより１億26百万円減少し43億63百万円となりました。固定資産は、大きな変動は無く２百万円減少し61億17百万円となりました。流動負債は、仕入債務の支払に伴う支払手形及び買掛金の減少、前連結会計年度に係る法人税等の納付による未払法人税等の減少などにより64百万円減少し29億12百万円となりました。固定負債は、大きな変動は無く５百万円増加し10億21百万円となりました。なお、長期・短期借入金は21百万円増加し16億31百万円となりました。株主資本は、第１四半期純損失１億26百万円により同額減少し65億44百万円、その他の包括利益累計額は46百万円増加し△１億10百万円、少数株主持分は11百万円増加し１億13百万円となり純資産は69百万円減少し65億47百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後の経営環境は、緩徐ながら回復基調にある日本経済の影響下で推移するものと予想されますが、当社グループは、当初計画に則り、一層の効率化を図り業績予測達成に努力してまいります。

当期の見通しにつきましては平成24年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法については、従来、定率法（建物を除く）を採用し、在外連結子会社は定額法を採用しておりましたが、当第１四半期連結会計期間より、当社及び国内連結子会社においても定額法に変更しました。

この変更は、当連結会計年度に新設した在外連結製造子会社「南通康賽克半導体工具有限公司」（中国江蘇省南通市）の本格的な工場稼動など、当社グループのグローバル展開が進展する中で、国内生産拠点から海外生産拠点への移行が明らかとなり、その重要性が高まってきたことを契機として、国内グループ会社の有形固定資産の使用状況を検討した結果、国内においては多種少量の特殊品を安定的に生産することとなるため、定額法による減価償却の方法を採用することにより、当社グループの経済的便益の消費パターンを適切に反映させることができると判断したことから行ったものであります。

この変更により、従来の方法と比べて、当第１四半期連結累計期間の減価償却費は2,941千円減少し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ2,941千円減少しております。

なお、セグメント情報等に与える影響は、当該箇所に記載しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,069,887	1,099,412
受取手形及び売掛金	2,255,666	2,055,097
有価証券	3,613	3,222
商品及び製品	796,363	834,529
仕掛品	35,077	42,987
原材料及び貯蔵品	199,467	214,930
繰延税金資産	8,972	6,933
その他	127,132	112,530
貸倒引当金	△7,469	△6,966
流動資産合計	4,488,708	4,362,674
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,924,315	3,927,786
減価償却累計額	△2,386,094	△2,402,529
建物及び構築物（純額）	1,538,221	1,525,257
土地	3,760,476	3,760,476
その他	1,060,373	1,054,609
減価償却累計額	△976,646	△965,719
その他（純額）	83,727	88,890
有形固定資産合計	5,382,424	5,374,622
無形固定資産		
のれん	13,439	11,579
その他	47,248	45,018
無形固定資産合計	60,687	56,597
投資その他の資産		
投資有価証券	399,651	409,171
繰延税金資産	5,986	6,389
その他	336,580	337,598
貸倒引当金	△66,602	△67,595
投資その他の資産合計	675,614	685,564
固定資産合計	6,118,725	6,116,783
資産合計	10,607,433	10,479,457

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,700,014	1,624,523
短期借入金	995,987	1,016,181
未払法人税等	43,809	18,436
賞与引当金	58,841	44,969
完成工事補償引当金	254	256
その他	176,707	207,489
流動負債合計	2,975,612	2,911,854
固定負債		
長期借入金	614,126	614,842
退職給付引当金	324,343	326,177
役員退職慰労引当金	26,961	30,551
その他	50,697	49,462
固定負債合計	1,016,127	1,021,033
負債合計	3,991,739	3,932,887
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,090,270	4,090,270
資本剰余金	3,013,064	2,711,745
利益剰余金	△378,159	△203,248
自己株式	△54,962	△54,962
株主資本合計	6,670,212	6,543,805
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△138,007	△99,174
為替換算調整勘定	△18,788	△11,168
その他の包括利益累計額合計	△156,795	△110,343
少数株主持分	102,277	113,107
純資産合計	6,615,694	6,546,570
負債純資産合計	10,607,433	10,479,457

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	1,681,695	1,905,412
売上原価	1,354,978	1,497,948
売上総利益	326,717	407,464
販売費及び一般管理費	489,283	473,228
営業損失（△）	△162,566	△65,764
営業外収益		
受取利息	609	793
受取配当金	3,016	3,892
受取手数料	2,849	2,390
受取家賃	4,015	4,005
為替差益	－	5,778
その他	2,059	3,057
営業外収益合計	12,547	19,915
営業外費用		
支払利息	4,284	3,817
有価証券運用損	1,283	－
その他	1,322	2,475
営業外費用合計	6,888	6,292
経常損失（△）	△156,907	△52,141
特別利益		
固定資産売却益	－	22
投資有価証券売却益	－	7
役員退職慰労引当金戻入額	527	－
特別利益合計	527	30
特別損失		
固定資産除却損	485	108
投資有価証券売却損	464	－
投資有価証券評価損	－	50,210
特別損失合計	948	50,317
税金等調整前四半期純損失（△）	△157,329	△102,429
法人税、住民税及び事業税	8,608	13,984
法人税等調整額	△3,580	1,698
法人税等合計	5,028	15,682
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△162,357	△118,111
少数株主利益	985	8,296
四半期純損失（△）	△163,342	△126,406

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△162,357	△118,111
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,185	38,837
為替換算調整勘定	5,877	11,750
その他の包括利益合計	△9,307	50,588
四半期包括利益	△171,664	△67,523
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△174,833	△79,954
少数株主に係る四半期包括利益	3,169	12,431

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報　（単位：千円）

	報告セグメント						
	切削機具事業	特殊工事事業	建設・生活関連品事業	工場設備関連事業	介護事業	ＩＴ関連事業	合　計
売上高							
外部顧客への売上高	583,383	184,722	607,995	112,171	114,902	78,522	1,681,695
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	11,346	4,779	－	1,002	17,128
計	583,383	184,722	619,342	116,950	114,902	79,524	1,698,823
セグメント損失（△）	△14,280	△19,278	△15,699	△9,182	△10,999	△10,783	△80,221

２．報告セグメントの損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）　（単位：千円）

利　益	金　額
報告セグメント計	△80,221
セグメント間取引消去	△814
全社費用（注）	△81,531
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△162,566

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報　（単位：千円）

	報告セグメント						
	切削機具事業	特殊工事事業	建設・生活関連品事業	工場設備関連事業	介護事業	ＩＴ関連事業	合　計
売上高							
外部顧客への売上高	595,037	262,359	699,437	140,470	112,080	96,028	1,905,412
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	6,622	4,500	－	850	11,972
計	595,037	262,359	706,059	144,970	112,080	96,878	1,917,383
セグメント利益又は損失（△）	10,070	△21,024	13,462	15,107	△13,322	14,550	18,842

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）　（単位：千円）

利　益	金　額
報告セグメント計	18,842
セグメント間取引消去	△763
全社費用（注）	△83,844
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△65,764

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

「会計方針の変更」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法について、従来、定率法（建物を除く）によっておりましたが、当第１四半期連結会計期間より、定額法へと変更しております。この結果、従来の方法と比べて、当第１四半期連結累計期間の「切削機具事業」、「建設・生活関連品事業」、「工場設備関連事業」及び「ＩＴ関連事業」のセグメント利益はそれぞれ938千円、634千円、218千円、21千円増加し、「特殊工事事業」及び「介護事業」のセグメント損失はそれぞれ539千円、317千円減少しております。

４．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。